



鹿児島島のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアを取り払われています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

KAGOSHIMA

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen



車いすでもゆったり移動ができる一等寝室内

●薩摩半島の最南端・長崎鼻から約40kmに位置し、竹島・硫黄島・黒島の三島からなる三島村。雄大な自然と、古き良き伝統文化の歴史ある島として多くの観光客が訪れています。その中でも硫黄島に伝承されている「薩摩硫黄島のメンドン」は、国の重要無形民俗文化財に指定、一來訪・仮面・仮装の神々の構成行事のひとつとして、ユネスコの無形文化遺産にも登録されました。
鹿児島本港と三島村を結び

フェリーみしま

(三島村)

三島村役場
鹿児島市名山町12-18
TEL 099-222-3141
FAX 099-223-1832

切符等発売場所(車輛・貨物受付)
みしま待合所(鹿児島本港区南埠頭)
TEL 099-813-7751(中川運輸)



エレベーター乗り場へも手すりによる案内でスムーズに移動できる

新造船「フェリーみしま」は、2020年5月に就航。船内の通路やフロアはすべて段差のないバリアフリー対応で、出入り口は車いすでもゆっくり通れる仕様になっています。バリアフリー対応のトイレをはじめ、各室の入り口には点字ブロックの案内、高齢者・障害者の席は入り口の近くに設けるなどの配慮がなされています。また、エレベーター内にも視覚障害者のための音声案内も。船内の経路にある手すりに



バリアフリー対応のトイレのほか、授乳室やキッズルームも完備

は、点字と文字で移動先が案内されているほか、客室内は車いすでもゆったり移動できる広さになっているので、より快適な船の旅が満喫できるようになりました。本土と島を結ぶ唯一の公共交通機関として、また島民の生活航路として欠かせない存在の「フェリーみしま」。一泊二日の航海のほか、日帰り運航も週2日に増便された同船で三島村への旅を楽しんでみませんか。



鹿児島港から三島村を結ぶ、フェリーみしま

鹿児島県からのお知らせ

令和2年度鹿児島県障害者保健福祉大会を開催します

障害者の社会参加への意欲を喚起するとともに、障害や障害者に対する理解と認識を深めることを目的として、障害者保健福祉大会を開催します。

当日は、県知事表彰や体験発表のほか、手話通訳士の中野佐世子氏を講師に迎え、障害など多様な個性を持つ人々を理解し共に笑顔で生きていくために、私たちがどのように意識し行動すればよいのかについて講演が行われます。



撮影：吉川信之

【日時】令和2年11月12日(木) 午後1時～午後3時30分 【会場】かごしま県民交流センター 県民ホール
【問合せ先】鹿児島県障害福祉課療育支援係 電話：099-286-2744

